

3月定例町議会

5カ年計画の現状を問う

行政全般にわたる広範な一般質問



3月定例町議会では、4議員が登壇し、5カ年計画の実施状況を中心に、行政全般にわたって数10項目に及ぶ質問を行い、町の考えを正しました。



第2次5カ年計画の最終年度をむかえるが、計画書にもられた各分野ごとの施策の実施状況や、今後の見通し等について伺いたい。「文化行政」まで同一質問

交通網の整備拡充

佐倉銚子間の複線化について、国鉄当局に対する要望の経過は。

沿線自治体で組織した国鉄佐倉銚子間複線化期成同盟会が毎年、運輸省、国鉄本社等へ陳情を続けている。23兆円の赤字をかかえている現状では、利用状況なども考え合わせると至難なことだと思いが、民営化の動きを見ながら、更に効果的な手段を選んで陳情を続けていく。

芝山鉄道が九十九里浜まで延伸されることについて、関係機関への要望の経過は。現在の地域人口から考えて

も採算が合わないのは明白であり、よい回答は得られていないが、将来のため主要な問題なので、芝山・松尾・蓮沼・横芝の3町1村で芝山鉄道延伸協議会を組織し、根気よく関係機関へ働きかけていく。

開発事業

駅北側の開発計画はどのようになっているか。

コンクリート製造工場の移転を中心とした第1次開発計画が、資金問題等で変更を余儀なくされた。しかし役場から栗山川に至るバイパス周辺は、町づくりの核ともいえる場所なので現在策定を進めている都市計画の中で検討している。

坂田池周辺の公園計画はどのまで進んだか。

専門家に委託して具体案をつくらせているが、都市計画の遅れから、今少し先になろう。

しかし、61年度から62年度にかけて水資源開発公団が池の整備をするので、かわりのある部分については、先行的に考えていきたい。

通年型観光をめざした海の科学館の建設など、こどもの国周辺整備計画はどうなっているか。

プール完成後の2次計画では、水族館を建設する予定だったが、全国の水族館すべてが赤字経営であることから、県の指導で断念した。隣接村に大きな施設があること、日大前の流域は津波などの災害に備えて遊水地として必要であることなどを考慮すると開発にも問題がある。

横芝町宅地開発指導要綱の制定はどうなったか。

1000平方メートル以上の宅地開発については、県の宅地開発条例の適用をうけるが、1000平方メートル未満のものには規定が

設けられていない。現在は、道路占用許可申請が出された場合に、細部に亘る指導をしている。指導要綱の制定については、検討したい。

大総地域の振興策の一つとしての工業団地とゴルフ場建設の進捗状況を伺いたい。

複合開発計画として、業者により用地のとりまとめや申請手続きが進められているが、県との事前協議が整うまで公表は差し控えている。3月28日に開かれる工業団地促進委員会の席上、今までの経過を説明したい。

生活環境の整備

町営の不燃性ごみ処理場を建設する計画は。

不燃性のゴミのうち生ゴミについては、広域市町村圏で建設した処理場が松尾にあり、側溝から出るヘドロ等の処理場は中台に建設し処理している。今後予想されるコンクリート片等の不燃物については、民間業者によって処理すべきだと思う。

不法投棄に対する取り締りの強化と町民のモラル向上対策は。

不法投棄を発見或いは通報されたものは調査し、関係者が判明した場合は連絡し、指定の袋を買うよう説得している。美化活動として年2回、町民

こぞって1日清掃を実施している。空ビン、空カン更に廃電化製品の回収を定期的の実施している。有線、広報により活用を呼びかけ、総務員、各種団体の協力を得て努力してゆきたい。

生活雑排水の水質汚濁に対しては、どのような防止対策が施されているか。

55年から59年にかけて、町内約400戸にテスト的に簡易浄化槽を設置、その対策にのり出したが、フィルター等に不完全な面があり、メーカーに改善するよう申し入れた。今後、更に調査し、普及如何については検討する。

1市7町1村で組織している栗山川汚染防止対策協議会ではチラシ等で各家庭の協力を呼びかけている。また、同協議会では、宅地開発については、浄化槽設置を条件に同意している。

生活排水路の整備計画は。

生活雑排水専用の水路をつくることは困難である。都市計画の指定区域となれば、その中で下水道整備を検討してゆきたい。

人口の増加に並行した墓地整備対策はどうか。

現在、宗教法人以外の墓地建設は許可されない。稀に都市部では、墓地公園と称して墓地